THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA HATSUKAICHI
Rotary
広島廿日市ロータリークラブ 会報
2020年 7・8月号 No.426

◆◆◆ 本年度会長方針 ◆◆◆

「こんにちは、ロータリーです。」～心のドアをノックしよう～

例会日／毎週月曜日 12:30 ～ 13:30
例会場／広島サンプラザ　TEL (082) 278-5000
会　長／松本　　猛　　幹事／松野　正信

事務局
〒738-0015 広島県廿日市市本町５番１号
廿日市市商工保健会館 4F
TEL（0829）31-5490　FAX（0829）31-5491
E-mail／office20@h-hrc.com
URL／http://www.h-hrc.com/

第1047回 広島サンプラザ　2020年7月6日

会長時間

会長　**松本　　猛**

誕生祝

米山奨学金授与

ホームクラブ100%出席祝

卓　話

「理事役員就任挨拶」

会員組織常任理事　**渋下　孝志**

このたび会員組織常任委員会委員長を拝命しました渋下です。

松本会長から是非やれと言われたときは「荷が重すぎます」と固辞したのですが、松本会長に「どうしても」と寄り切られてしまいました。

会員組織常任委員会になって私にとって良かったことがひとつ、悪かったことがひとつあります。

良かったことは、入会依頼３年間やってきたS.A.A.を離れることができたことです。

集金が忙しいのはありまして、帳簿付け・合計金額確認、ときには「私の誕生日のメッセージを書いておいて」とお金だけ渡される方。自分のメッセージくらい自分で書きましょう！

例会開会前にソファーに座って雑談している人のうらやましかったことうらやましかったこと。入会前はええのええのとちやほやしてもらいましたが、そんなことで例会前の雑談すらできない３年間…。今月から私はソファーに深々と座り、あのテーブルには近寄りません。うれしやうれしや（笑）。

悪かったことの方は、言うまでもありません。新型コロナウイルスの影響もあって４月から６月だけで７人の会員が退会されました。

ただでも少ない会員がますます少なくなりました。

そんなときに会員増強の責任者とは！前途多難は目に見えています。

しかしながら、まあ逆にこんなときに肩に力ばかり入れてもしかたないと思い直しました。

新入会員にとっても新入会員候補者にとっても現有会員にとっても、会に入会するためには、あるいは会に会員としてとどまるために最も大切なのは、会にいることの「居心地のよさ」「楽しさ」があるということだと思います。

なかには「社会に奉仕するぞ」と使命感に燃えて入会される方や、その使命感のため会に居続ける方もいるかとは思いますが、やはり会にいることの「居心地のよさ」「楽しさ」が活動する上で何よりも基本的な前提となると思います。

そのために会員組織常任委員会だけでなく会員全員による会の楽しい雰囲気づくりの努力が肝要と考えます。そのような楽しい会にすべく日ごろからみんなで努力しませんか？

今、私はこんなふうに思っています。皆さんのご賛同をいただければうれしいのですが…。

以上で私の挨拶を終わります。

S.A.A.委員長　**髙尾　昌二**

この度、S.A.A.委員長に就任いたしました。

クラブ会員同士とゲスト・ビジターとの交流の場である例会その他の会合が秩序正しく運営されているとともに、今年度の会長方針にもありますように、出席者全員が心のドアを開き楽しい雰囲気になるよう、運営・監督に努めてまいります。

また、S.A.A.は、スマイルボックスの運営も担当しています。

スマイルボックスは、会員、ゲスト、ビジターからの任意の自発的な寄付金により成り立っています。誕生月、創業月、慶事、ピーアール等どのようなことでも結構ですので、メッセージを添えてのご寄付をよろしくお願いします。

幹事　**松野　正信**

前年度幹事予定でありましたが体調を崩して急遽、松本会長エレクト・副会長に更に幹事役を担ってもらいました。よって断るなんて出来ず、幹事に任命された松野です。

新型コロナウイルスの影響でロータリー活動も様々に制約があり大変な中で今年度がスタートしました。クラブの舵取りをする松本会長を支える側に徹することがクラブ奉仕と思い尽力します。

会長エレクト　副会長
今川　勝

クラブ管理運営常任理事
藤岡　哲也

奉仕プロジェクト常任理事
佐伯　敬男

公共イメージ理事
渡邊　英晶

ロータリー財団常任理事
上杉　昌幸

会計委員長
河内　正晴

第1048回　広島サンプラザ　2020年７月27日

会長時間

理事会報告

副会長　**今川　勝**

卓　話

決算予算報告

前年度幹事　**松本　猛**

今年度会計委員長　**河内　正晴**

クラブ協議会

第1049回　広島サンプラザ　2020年８月３日

会長時間

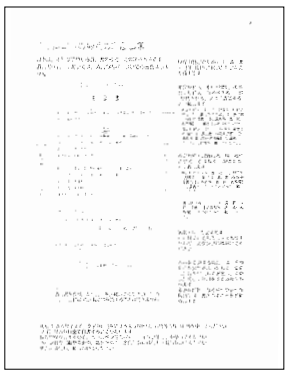
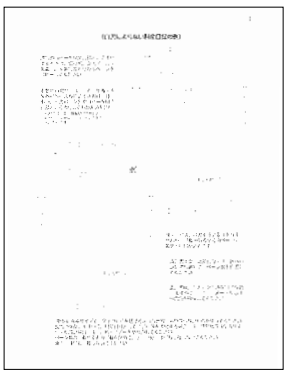
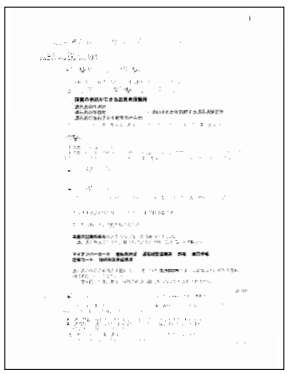
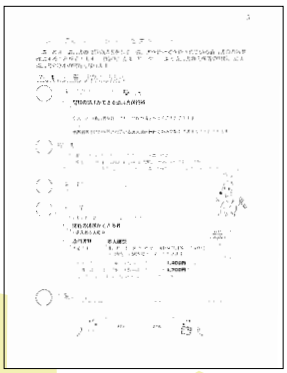
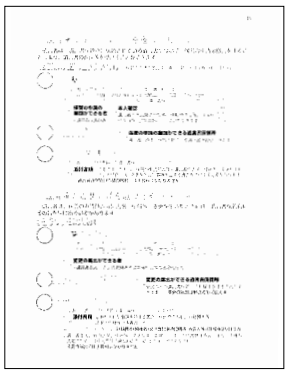
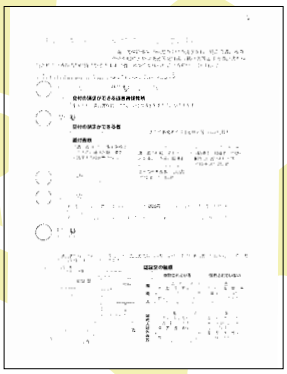
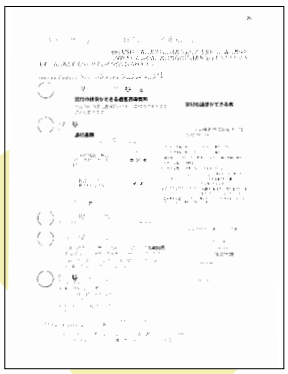
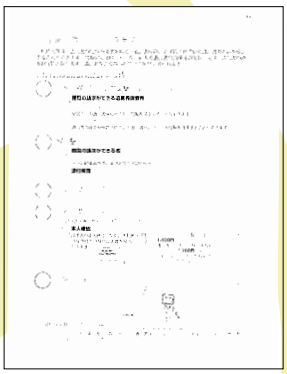
会長　**松本　猛**

誕生祝

卓　話

「遺言書保管制度について」

髙尾　昌二　会員

（以下資料割愛）

第1050回 広島サンプラザ 2020年8月24日

会長時間

理事会報告

副会長 **今川　勝**

卓　話

「私の自叙伝」

永井　勝康 会員

新型コロナウイルスで弊社も４月頃から苦しい経営を続けています。現在は仕事量も毎月半分にも満たない状況のなか、余りある時間を使ってコロナ対策商品を社員と考案・製作しています。

この状況は昭和38年創業からの57年間の社歴のうちで最悪状態ですが、落ち込んではいられません。数え切れない経験をしてきたうちの一つと捉えて前向きに頑張っています。

本年度の卓話は、会員一人一人に順番に行うことが理事役員会で決まり、何故か私が最初にやるように指名されました。私も廿日市ロータリー歴25年のなかで20年以上前に卓話した憶えがあり、その後に入会された会員の方々が私の素性や何をなりわいにしているかご存じないであろうと思い演題を「私の自叙伝」にしました。しかしそれからが大変でした。先祖や父母のこと、私自身が生まれ育った場所や状況、学生時代からその後の仕事の関わり等々、その事象の前後関係が走馬灯のごとく頭の中を駆けめぐり今回の卓話になりました。

私事中心の話になり、つまらない話をしたと反省しています。

第1051回 広島サンプラザ 2020年8月31日

会長時間

会長 **松本 猛**

卓 話

「「コロナ」から生まれた新商品」

石原 弘善 会員

このたびのコロナウイルス感染症の流行で医療従事者の感染対策にと保護シールド、エアロゾルBOXを作りました。そのきっかけは海外ニュースの中で人工呼吸器挿入時の飛沫防止をした治療の様子がテレビで流れました。その後、国内でも感染拡大が始まり、そのニュースの録画を探し参考にしてダンボールにビニールを貼り付けたBOXを県立広島病院に持ち込んでみました。テストして頂くと反響が良かったのですが、ダンボールは水分に弱く消毒には適さない状態がわかりました。先生の希望を聞き、全体の形、穴の位置と大きさ、何回か改良を重ねプラスチック製の現在の形になりました。現在は救急車が入る外来と病棟で使用して頂いています。

その後、病院からの新たな依頼がPCR検査用保護シールドでした（患者さんと先生の間を隔てて感染リスクを減らすカバー）。

試作は前回同様ダンボールで作り使い良さ等を確認して頂きました。やはり課題は水分に弱い点です。こちらもプラスチック製に変えました。特にこの商品を作るのに苦労したのが使用するロング手袋が病院に無かった事です。

そこで、まず代用品を探す事が課題となりました。一升びんや焼酎の細長い袋を思いつきお酒屋さんでもらってきました。それは、底は平で物をつかむのは不自由でしたが手立てがありません。病院側もフランスパンの袋などしか思いつかなかったと言われてました。

色々探しているうち、運よく私のお客様の工業用手袋が見つかり、それが装着でき、腕の入る大きさ等を試行錯誤し完成しました。

10月頃からインフルエンザの流行の時期に入り検査する時、万が一のコロナ患者の防御も必要となります。そのために毎回防護服の装着は負担がかかるという現場の声も聴いています。少しでもお役に立てればと思います。

間仕切り　ダンボールベットを作るきっかけ

2004年中越地震が発生し、間仕切りが必要ではと設計し赤十字に伝えたものの、被災地との連絡がつかないと行動は起こしませんでした。2011年東日本大震災が発生、被害も大きく避難所のプライベート空間が必要と改めて思い、設置も楽で簡素化を考え商品化。広島県に情報を出し必要とされる所と連絡をとってもらいました。当時トラック輸送はガソリンの補給にメドが付かず地元の運送メーカーは受けてくれませんでした。最終的に自衛隊のヘリコプターで宮城県七が浜町に1000区画届ける事が出来ました。後、岩手県大槌町に500区画はトラックをチャーター頂きました。その時は2000*2000*980Hでした。

現在はコロナの状況下、三密を避け、飛沫防止の必要性から高いタイプの間仕切のニーズに変わってきました。今年からは密を避けての分散避難所の観点から、箱詰めして移動も楽に出来る様にしました。そして、廿日市市には250台ダンボールベッドを購入頂きました。

また、地域のお役立に少しでもなればと、７月には廿日市市の教育委員会に子供たちの感染予防対策としたフェースシールドを1000枚寄贈させて頂きました。